

平成30（2018）年度 第3回 北栄町文化財保護委員会

日時 平成31（2019）年3月4日（月）

午後1時28分～2時35分

場所 北栄町中央公民館1階 中研修室

参加者 北栄町文化財保護委員：日置桑左エ門、南場兄一、中前雄一郎、遠藤晃子

事務局：生涯学習課長 杉本裕史、

文化・スポーツ推進室 室長 前田美友紀、主幹 手嶋仁美

欠席：なし

1. 開会

2. あいさつ

3. 報告事項

(1) 由良台場・六尾反射炉発信連携事業について

・明治150年「台場・反射炉をもっと知ろう！！」（3月24日（日））

日置委員長：事務局お願いします。

課長：資料チラシのとおり。バスツアーでは西園の秋山先生にご協力いただき、琴浦町矢下から北栄町六尾までの水路のうち要所を見学する。ご参加をお願いしたい。

委員長：何かありますか。（委員からはなし）

(2) その他

・齋尾家住宅限定公開（3月17日（日））

室長：現在3名の参加申込がある。委員のみなさんもご参加をお願いしたい。

課長：建築士小畑さんの解説が分かりやすいと好評。

・文化財再整理・再保存事業

課長：委員のみなさんにお世話になり実施した「お別れ展示」について、2月17日に東京大学大学院主催のフォーラムで発表をした。博物館資料のあり方は、全国的に財政や少子高齢化の課題もあり今後考えていかなければならない問題。「お別れ展示」はタブーに手を付けた取り組みだと評価された。3月6日にはTCCで特集番組が放映される。

南場：タブーに手を付けたとは、どういうことか。

課長：公立の博物館が資料を公開する形で堂々と手放し、処分したこと。

南場：資料のその後のフォローは？

課長：譲渡者アンケートにより把握している。転売を禁止し、発覚した場合には資料返却を求めている。

南場：資料がどこに渡ったのか分かるようにしておいてほしい。

室長：譲渡された情報を残すようなデータ整理をしている。

4. 協議事項

(1) 北栄歴史文化探訪ガイドマップについて

室長：今回の校正を最後に印刷にかかりたい。3,000部印刷。

P.20 日置黙仙氏の写真は印刷分では鮮明なものになる。

P.21 青山剛昌氏、P.22～23 ふるさと館、コナン通りについては小学館に監修協議中。小学館からは今週水曜日に回答予定。

(修正・要検討箇所 各委員より)

- ・ルビ追加 「文化財の紹介」の方にルビをつける。
- ・「文化財の紹介」の各数字修正 地図の表示と同様に赤地に白抜き、MAPなし
- ・「文化財の紹介」説明文は敬体に統一する。
- ・「水制工」写真 水制工がどれなのか分かりにくい。
- ・P.4 国史跡由良台場 「点などから」→「点などは」
- ・P.20～21 作品名掲載
- ・P.23 「ブロンズ像」「UDタクシー」掲載

(2) 地域副読本（歴史編）について ※資料当日配付

室長：本日配付したものは小学6年生には難しい内容で、これから漢字をひらがなにしたり注釈やルビをつけたりして修正していく予定にしている。各小学校の6年生担任と学校側から推薦された先生からももらった意見としては、絶対に使わない項目は削除するとしても、知りたい子には興味が広がるきっかけとなるのでたくさん情報が載っているのはいいとのこと。

また、当初は歴史編の後に人物編を作成する考えがあったが、別々に作成するのではなくて一緒に盛り込んだ形の方が使いやすいと思っている。

今回はざっとご覧いただき、詳しくは来年度5月開催の文化財保護委員会で協議したい。特に不足している項目があれば教えてもらいたい。

委員長：何かありますか。

中前：小学生への社会の授業では写真やイラストを中心にするのが分かりやすい。教科書もそのような作りになっている。この内容を全て授業で学習させようとしてもオーバーフローになる。ただし小学生が地域を調べるのには役立つのではないか。これはこれで、社会教育でなら興味のある方に向けて大変いいと思う。

遠藤：授業ではじっくり読む時間がとれないので、この原稿そのままでは難しい。先生の授業のためのテキストとして使ってもらうのも一案。

南場：中学校の授業でも難しいと思う。人物をもっと膨らませて大人向けにするのもいいかもしれない。

室長：学校の先生から、昔の地図と今の地図を視覚的に比べるのは興味を引いて面白いとの意見ももらった。

中前：用水路は土下から米里に向かって流れていて、北条川は米里から土下に向かって流れている。もともとの地形が影響している等ボーリング調査で分かってきたこともあるようで面白い。

委員長：人物伝はこのようなカッコ書きで？

室長：人物伝はまだ入れていない。初めの歴史部分と関連させて巻末に入れるような形を考えている。歴史には直接関係のない人物も幅広い分野で掲載する。

委員長：以前中学校の副読本の作成に協力したことがあるが学校の意見を聞いて作った。

遠藤：歴史に初めて触れる小学生が歴史嫌いにならないように…教科書のとおりではない地域の現状や誇れる歴史を伝えていきたい。

室長：学校向けには子ども達が興味を持ちやすい写真、イラストを多くしたものとし、今回ご覧いただいたものは別に活用するためのベースにするような方向を検討したい。詳細は小学校とも相談して来年度の作成に向けて検討する。委員のみなさんには後日でいいので、ぜひ小学生に知っておいてほしい項目や人物などのご意見をお寄せいただきたい。

(3) その他 なし

5. その他

室長：北栄みらい伝承館企画展、図書館郷土史入門講座について(チラシ当日配付)

6. 閉会

★家庭教育12か条★

3月は

「家庭学習でしっかり復習」

